

みのが丘

《校 是》 <誇り> <希望> <理想>

《学校教育目標》 自ら学び、心豊でたくましく生きる生徒の育成

公式ホームページURL <http://www.shiogama1-jh.shiogama.ed.jp>

第2学年 立志式

11月26日（金）、第2学年では立志式を実施しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため学年全体で行うのではなく、各学級ごとに分かれての開催となりました。生徒一人一人が立志に向けて選んだ漢字1文字を色紙に書き、将来に向けての意気込みを発表しました。当日はたくさんの保護者の皆様にもご来校いただき、生徒たちの活動を盛り上げていただきました。

今回は代表生徒8名が発表した立志の作文をご紹介します。

2年1組 高橋 優 さん

私が選んだ漢字は「頼」です。私は将来、みんなに親切に接することができて、信頼されるような人になりたいと思っています。それは、私が幼かった頃、できないことや困っていることがあったときに手伝ってくれたりアドバイスをくれたりした人達がいてくれたおかげで今の私がいると感じているからです。

誰からも信頼される人になるためには、一人一人と向き合うことが必要です。そして、その人がなぜ困っているのかを理解して優しく声を掛け、手を差し伸べることができなくてははいけません。他にも相手を思いやることが大切だと思います。

しかし私は、相手が困っていたり、不安になっていると分かっているのに、恥ずかしくて勇気を出せずに無視をしてしまうことが多いです。相手のことを考えずに、行動をしてしまったり、発言をしてしまうことも多々あります。なので、しっかり相手を思いやれるようにこれから頑張っていきたいです。

このことから、私はみんなから信頼され、親切だなと想われるような人になりたいので、「頼」という漢字を選びました。



1組の発表の様子

ない！」と書いていても、いつの間にか寝てしまいます。そして前期の評価を見たとき、ある教科が点数は結構とっていても4だったので、「あっ、これは寝ていて下がったのかな～」と思いました。だから、授業中寝ないように完璧に受けられるように「完」という漢字にしました。

今だけでなく、僕は大人になっても何事も「完璧」に最後まで終わらせることは大事だと思います。なので僕は最後まで責任をもって仕事をやり遂げる人間になりたいです。

2年1組 松本 翔心 さん

僕が選んだ漢字は「完」です。僕がこの漢字に決めた理由は、いつも母親に怒られているからです。なぜ怒られているのかというと、例えば何かをしようときや片付けるとき、中途半端にしてしまうからです。そして母親に、「おい、また中途半端。お前はいつも65%だ。」と言われます。だから、物事を最後まで終わらせることができるようにと思い、この「完」という漢字にしました。

理由はもう一つあります。それは、学校での授業のことです。僕はいつも授業中「絶対寝

2年2組 土井 さゆり さん

私が選んだ漢字は「創」です。私はスイーツを創るのが好きで、休日にはよくスイーツづくりをしています。将来はパティシエになりたいと考えていて、今は動画を見ながらケーキを作っています。しかし、私のなりたいパティシエは、自分で一から創るパティシエです。人の物をまねるのではなく、外見のデザインから材料選び、創り方など自分で考え創るパティシエになりたいです。

また、私にはもう一つの夢があります。パティシエになった後、カフェを開くことです。外見や内装、メニューなど、一から自分の手で創るカフェを開きたいと考えています。そして雰囲気などは来てくださったお客様や従業員の方たちと創っていきたいと考えています。例えば、友達とケンカしてしまったり、仕事で疲れている時などにあそこのカフェに行きたいなと思ってもらえるような、心暖まるカフェにしたいです。

私はパティシエになり、カフェを開くことが夢です。しかし、それだけでは夢が叶ったとは言えないと思います。それでは、自分のことだけだからです。私はお客様の心を一番大切に考え、0から1までを自分で創り、1から100までを人と創っていく、そんな人の心に小さな思い出として残ってもらえるカフェを開きたいです。



2組の発表の様子

2年2組 小砂子 豊允 さん

僕が選んだ漢字は「跡」です。僕はいろいろなことをし、跡を残したいです。いろいろな人と出会い、人の役に立つことをしたいです。僕は、小さい頃から、何かを残し、みんなを助けたいとは思っていましたが、今までみんなを助けたことがあまりありませんでした。小学校の時に、重い荷物を持ったり、素速く、テキパキ行動したりしようと思っても、面倒くさい気持ちの方が勝ってしまい、結局やりませんでした。みんなも面倒くさいと思っているはずなのに、なぜやるんだろう？そう思ったときに、「みんなの役に立ちたい」「友達を助けたい」という思いがあるから素速く行動したり、きついことを率先してやったりしているんだなと思いました。

僕はこれまでできなかった分、今から頑張りたいと思います。大人になって、町のゴミ拾い活動や困った人を助ける活動など、社会のために頑張って跡を残したいです。今参加しているボランティア活動を通して、たくさんの事を、将来に生かしていきたいと思っています。

2年3組 庄子 凜々花 さん

私が選んだ漢字は「話」です。いろいろな人と話せば、楽しめたり、成長できたりすると思います。私は、自分から進んで行動するタイプではありません。なので、自分の気持ちや考えを表に出そうと声を出すことはあまりありません。表に出さないといけないのは分かっていますが、できていないのは悔しいです。そこで「話す」ことが大切なのかなと感じました。話せば、自分はすっきりすると思うし、聞いている人も耳を傾けてくれると思います。今後、仲間が増えたり、上司・後輩ができたとしても同じ事をしていければ、いつかは自分を理解してくれるかもしれません。さらに、コミュニケーションを取ってたくさんの人と関われば、相手のことを知るきっかけにもなります。

これからは、たくさんの人と関わって、自分の視野を広げていきたいです。興味をもっていることには挑戦したり、自分がやっているイメージのないことを始めてみたいと思います。子どもから大人まで、いろいろな人と話してみたい。発見するところもあると思うので、生活するのも楽しくなると思います。そんな役割を果たしてくれるのが「話す」ことだと思います。

2年3組 西尾 虹太郎 さん

僕が選んだ漢字は「優」です。僕は将来優しい人になりたいからです。小学生の頃の僕は、人の痛みが分からずに、嫌な言葉を言ったり暴力をふるってしまったこともありました。だけど、友達に助けられたり、優しくされたことで、仲良く過ごせる時間が増えました。また、人にいじわるをした後の嫌な気持ちより、優しくした後の気持ちの方が、ずっと良いことに気がきました。



3組の発表の様子

中学生になり体が大きくなってからは、度々祖父母から、高い所のものを取ったり、重い荷物を運んでほしいと頼られることが増えました。すぐに手伝うと、祖父母から「ありがとう」「助かったよ」と言われ、感謝される喜びも知りました。ですが、まだまだ未熟な僕は、人に優しくできない日もあります。「優」という字は、人を思いやる気持ちだったり、配慮ができるという意味が込められています。僕は将来そういう優しい大人になりたいです。

2年4組 及川 奈海 さん

私が選んだ漢字は「本」です。私は将来、本に携わる仕事がしたいと思っています。なぜなら、本を読むことが好きだからです。

本にはたくさんの種類があります。その中でも私が今一番好きなのは小説です。小説には、いろいろな世界があり、いろいろな登場人物がいます。そして私は、その登場人物たちに勇気や元気をもらったことがたくさんあります。嫌なことがあって落ち込んだときも、疲れて、「もうやりたくないな」と思ったときも、本を開けば登場人物たちが、自分自身の壁を乗り越えたり、私にはなかった考え方を教えてくれたりします。そんな登場人物たちに、私は支えられてきました。

私は、本に携わる仕事の中でも図書館で働きたいと思っています。図書館は本と人が出会う場所です。そこで働いて、本が好きな人もあまり読まない人も、子供や高齢者の方々とも、本と一緒に色々な人と関わっていきたいです。そして、今まで私を支えてくれた登場人物たちが、他の誰かを勇気づける姿を見るのが私の夢です。この夢を叶えられるように、勉強も、もっと頑張りたいと思います。だから私は、「本」という漢字を選びました。



4組の発表の様子

2年4組 小野 琉生 さん

僕が選んだ漢字は「考」です。僕は小学校の頃から将来の夢についての話題が出ると「まだ将来の夢はない」としか言えていませんでした。それは、まだ先のことだということと、先生や周囲の「今後見つければいい」という声にしがみついて、あまり将来のことを考えられていなかったからです。

しかし10月に行われたキャリアセミナーで僕の考えは変わりました。今までは仕事を選ぶことに執着していましたが、今では仕事を通してやりたいことを考えるようになりました。こういった考えがもてたのは、講師の方々の仕事の意味や、やりがいといった話を聞いたからでした。

僕の考えが変わったことで、「より人の役に立てる仕事」という視点で仕事を探したいと思いました。そして将来どんな大人になりたいかも少しずつ分かってきました。僕はまだ将来の夢が決まっていません。でもキャリアセミナーから学んだことを基に、自分に合った仕事を考えていきたい。そしてその仕事で何ができるかを考えながら生きていきたい。そういった思いから、僕は「考」という漢字を選びました。

避難訓練・引き渡し訓練

特別支援教育研修会

【学習障害研修会】

講師：東北福祉大学特別支援教育研究室
阿部 芳久先生

内容：「学習障害生徒の支援」

【特別支援教育研修会】

講師：仙台市立八乙女中学校 伊藤 陽子先生
内容：「ICT等を使った障害のある児童生徒の学習保障」

各種大会・コンクール入賞生徒紹介

現在までに結果が届いている、各種大会・コンクール等の入賞生徒を紹介します。

○塩竈市中学校弁論大会

- | | | | |
|-------|----|----|----|
| ・最優秀賞 | 3年 | 長澤 | 昂樹 |
| ・優秀賞 | 3年 | 齋藤 | 碧郁 |

○第60回宮城県造形教育作品展

- ・入賞 3年 菅原凜々子, 3年 山崎 心愛

○東日本自動車学校杯ソフトテニス大会

- ・1位トーナメント 第3位
2年 伊藤 心暖, 2年 盛合 真純

○読書感想文コンクール

- ・仙台地区 優秀賞 3年 浪岡 綾乃

○第19回宮城県内選抜子一ム交流大会

- ・優勝 仙台地区選抜 2年 中澤 章輝

○宮城県県新人バドミントン大会

- ・男子ダブルス 第5位
2年 佐藤 晃成, 2年 佐藤 鈴唯

○宮城県小中高作曲コンクール塩竈地区予選

- ・入選 2年 鈴木 結奈, 2年 小野 莉紗